

# 環境データを活用した新規参入者の技術支援（石狩農業改良普及センター石狩北部支所）

## 背景

### 【石狩市高岡地区の概要】

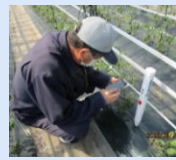
- かんがい施設が整備（H13年）され、労働集約型作物（ミニトマト、ブロッコリー等）の作付が推進されている
- 高岡施設園芸生産組合では、後継者不足への対策として、地域へ新規参入者を積極的に受入れている（生産組合構成員の3分の2（R4年：64%）が新規参入者）
- 地域生産組織や関係機関と連携し、新規参入者への支援を行っている

### 【地域の課題】

- 経験の浅い新規参入者への栽培技術の早期伝達
- 新規参入者の技術習得による地域作物生産の安定化、産地維持

## 普及活動内容

- 環境モニタリング機器の導入、活用支援
  - ・ 新規参入者とベテラン農家のハウス内（ミニトマト）の環境測定、データ蓄積、設置農業者間での情報共有を提案



i テンシオメータ

農業マルチセンサーシステム

設置農業者、新規就農者はデータをスマホで見ることが出来る！



設置農家	設置状況	設置状況			備考 (換気方法)
		R2年	R3年	R4年	
A	新規4年目	○	○	○	手動
B	ベテラン農家	○	○	○	手動
C	新規2年目			○	自動換気装置設置

- ・ 測定データの活用として、同ハウス内の生育調査を提案（栽培管理結果の確認、管理改善などに活用）、農業者自ら定期的に生育調査を行えるよう支援

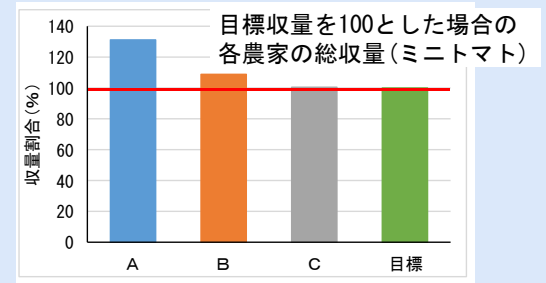


生育調査手法の説明会

## 普及の成果

### 【具体的な成果】

- 新規参入者の早期技術習得（生産組合の目標収量達成！）  
生育状況と数値を確認しながらベテラン農家の温度管理や水管理を習得することができた



### 【成果のポイント】

- ベテラン農家への機器設置による新規参入者への栽培技術の早期伝達（ベテラン農家が新規参入者の栽培管理を見守るのにも役だった）
- 生育調査により作物を見る目が養われ、データ共有で情報交換も盛んになった



スマホで簡単にデータが見られる  
他の人のデータも見られて管理の確認ができる！